


2016/9/1

SAPPORO



# 札幌市における 国際会議等誘致の取組と現況



札幌市経済観光局観光・MICE推進部



# I 国際会議等開催の現況

## ■ 受入環境（アクセス）

【新千歳空港の主な国内路線・国際路線】

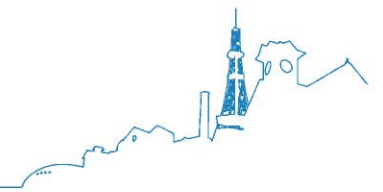
平成27年12月現在

| 国内線    |       | 国際線  |      |
|--------|-------|------|------|
| 成田空港   | 1日18便 | ソウル  | 毎日   |
| 羽田空港   | 1日55便 | 釜山   | 週8便  |
| 中部国際空港 | 1日18便 | 北京   | 週4便  |
| 関西国際空港 | 1日13便 | 上海   | 週10便 |
| 大阪伊丹空港 | 1日12便 | 台北   | 毎日   |
| 神戸空港   | 1日6便  | 高雄   | 週5便  |
| 福岡国際空港 | 1日4便  | 香港   | 毎日   |
| 仙台空港   | 1日14便 | バンコク | 毎日   |

○ 新千歳－羽田間は、年間搭乗者数で国内最多となる約900万人を誇り、首都圏から利便性の高いアクセス環境。

○ 国際線の直行便も東アジアを中心に13路線が就航。

# I 国際会議等開催の現況



## ■ 受入環境（宿泊施設）

### 札幌市内のホテル

|       |         |
|-------|---------|
| ○ホテル数 | 131軒    |
| ○客室数  | 23,236室 |
| ○定員数  | 40,264人 |

### 【札幌駅エリア】

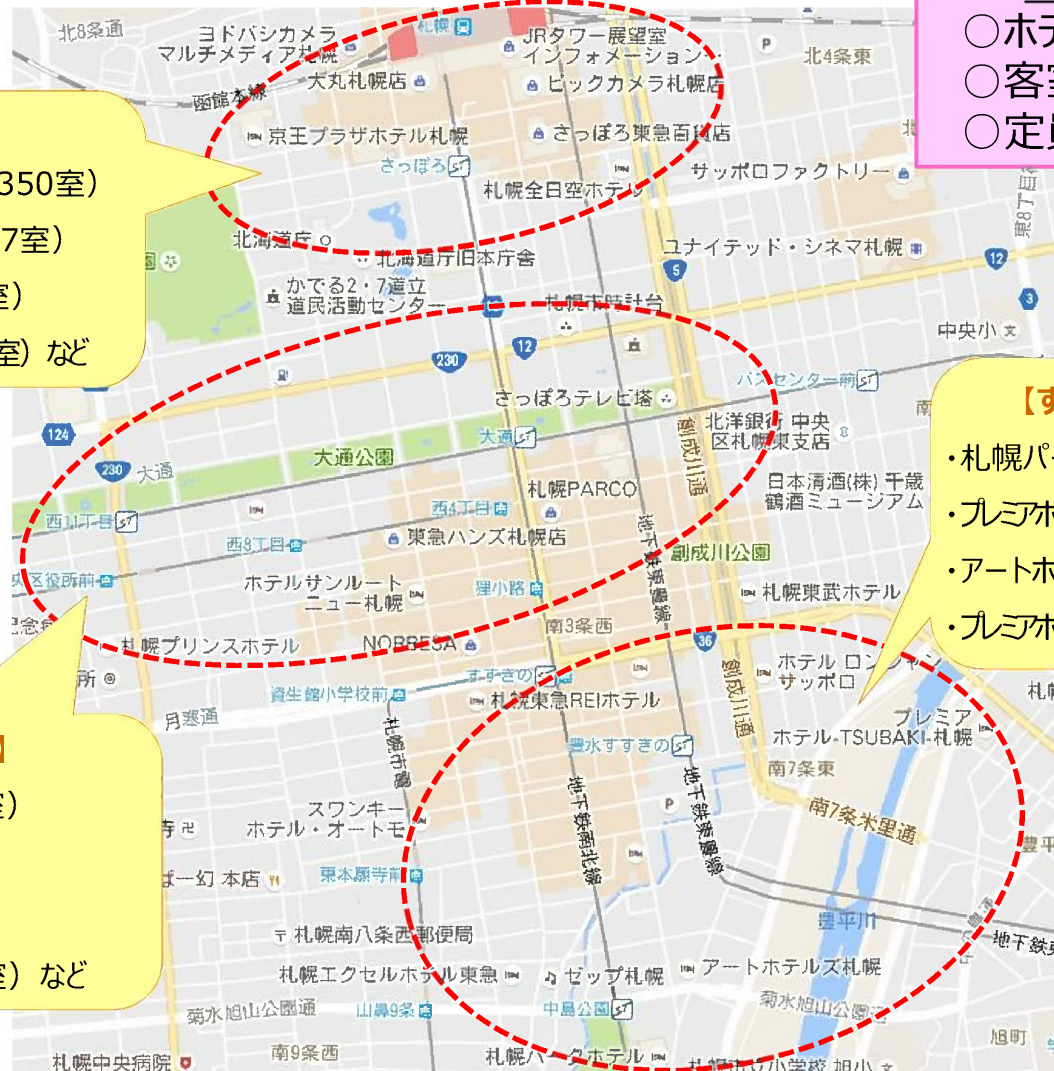
- ・JRタワーホテル日航札幌（350室）
- ・京王プラザホテル札幌（507室）
- ・札幌全日空ホテル（412室）
- ・センチュリーロイヤルホテル（300室）など

### 【すすきの・中島公園エリア】

- ・札幌パークホテル（216室）
- ・プレミアホテル・TSUBAKI・札幌（322室）
- ・アートホテルズホテル（285室）
- ・プレミアホテル中島公園札幌（228室）など

### 【大通公園エリア】

- ・札幌プリンスホテル（587室）
- ・ロイトン札幌（292室）
- ・東京ドームホテル（285室）
- ・札幌グランドホテル（504室）など



# I 国際会議等開催の現況



## ■ 受入環境（会議施設）



# I 国際会議等開催の現況



## ■ 札幌コンベンションセンター

- 敷地面積 41,019㎡
- 延床面積 20,310㎡
- 構造 地下1階・地上3階（RC造、一部SRC・S造）
- 供用開始 平成15年6月
- 指定管理 SORA-SCC共同事業体（株）コンベンションリンクージ、（株）東洋実業



札幌コンベンションセンター外観



← 展示場としてだけでなく  
可動席により2,500名が  
収容可能な大ホール



6ヶ国の同時通訳が対応  
可能な特別会議室 →

# I 国際会議等開催の現況



## ■ 国際会議の開催件数

|            | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年        |      |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|------|
| JNTO<br>基準 | 86件   | 73件   | 61件   | 89件   | 101件  | 106件<br>(暫定) |      |
| ICCA<br>基準 | 16件   | 7件    | 16件   | 13件   | 19件   | 18件          | 国内6位 |

※) JNTO（日本政府観光局）基準による国際会議開催件数とは、①国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため民間企業以外は全て）が主催、②参加者総数が50名以上、③日本を含む3か国以上が参加、④開催期間が1日以上のものである。

ICCA（国際会議協会）基準による国際会議開催件数とは、①国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体（各々の定義が明確ではないため、民間企業以外は全て）が主催、②参加者総数が50名以上、③定期的に開催され（1回だけ開催されたものは除外される）、④3か国以上での会議持ち回りがある会議。

- 東日本大震災の影響を受け、2011年、2012年では落ち込んだものの、その後は順調に回復
- 北海道大学、札幌医科大学を始めとする市内の大学研究機関に、学術系の国際会議を開催するにあたってのキーパーソンとなる人材が集積
- 分野別では、科学・技術・自然系、医学系の割合が高い

# I 国際会議等開催の現況



## ■ 政府系国際会議の主な開催実績

| 開催年月     | 会議名  | 参加者数<br>(うち海外参加者数) |
|----------|--|--------------------|
| 2010年6月  | 2010年日本APEC貿易担当大臣会合及び関連会合                        | 2500人 (2200人)      |
| 2012年6月  | 第27回アジア消防庁協会総会                                   | 528人 (71人)         |
| 2012年7月  | 太平洋まぐる類国際科学委員会 (ISC)第12回総会                       | 50人 (40人)          |
| 2012年10月 | 第13回北東アジア港湾局長会議・北東アジア港湾シンポジウム                    | 250人 (70人)         |
| 2013年7月  | 大西洋まぐる類保存国際委員会 (ICCAT)統合監視措置 (IMM)作業部会及び条約改正作業部会 | 100人 (60人)         |
| 2013年7月  | 国際電気通信連合 無線通信部門 SG5 WP5D第16回会合                   | 185人 (155人)        |
| 2013年11月 | 第13回日中韓特許庁長官会合                                   | 225人 (25人)         |
| 2013年11月 | 第4回日インドネシア交通次官級会合                                | 70人 (40人)          |
| 2014年2月  | 国際電気通信連合電気通信標準化部門<br>第16研究委員会 (ITU-T・SG16会合)     | 232人 (146人)        |
| 2015年9月  | 第7回日・ASEAN諸国防衛担当局次官級会合                           | 50人 (47人)          |



## II 国際会議等誘致の取組

### ■ 札幌MICE総合戦略（2015～19）

札幌市のMICE推進のアクションプランとして2015年4月に策定

【ビジョン】 札幌の魅力あふれる“ONLY ONE” MICE都市

#### ○ 積極的誘致戦略【重点誘致ターゲット】

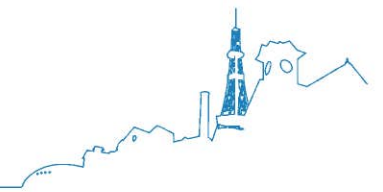
- ① 国内及びアジアをターゲットとした**学術系の大中規模会議**
- ② 主に東アジア・東南アジアからの**インセンティブツアー**
- ③ **国内外に向けたPR効果の高い政府系国際会議**
- ④ 札幌の特色を生かした**スポーツ関連の会議、大会、イベント**

#### ○ 基盤の強化戦略【受入基盤強化】

- ① 誘致・開催支援**体制の強化**
- ② **MICE施設整備**とゾーン形成の検討



## II 国際会議等誘致の取組



### ■ 誘致・セールス活動

#### 見本市・商談会における誘致

- 国土交通省北海道局、北海道と連携した誘致活動及び情報収集（政府系国際会議）
- 国内外のMICE専門見本市・商談会でのセールス（国際会議、学会）
- 国際会議主催者等のキーパーソン招請（国際会議、学会）

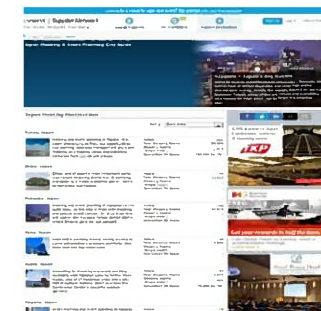


#### 海外メディアへの広告掲載

- 海外のMICE専門誌やWeb版の広報媒体を活用し、札幌の会議施設、ホテル、ユニークベニュー等、札幌の魅力をPR



海外の国際会議主催者等を対象としたMICE専門誌「Head Quarters」



世界各都市の情報を掲載したデータベース「Cvent」

#### グローバルMICE強化都市

- 2015年に観光庁により「**グローバルMICE強化都市**」に選定されたことから、現在、国とも連携しながらMICE誘致力を強化



## II 国際会議等誘致の取組

### ■ 開催支援・おもてなし

#### 開催支援プログラム

- 外国語ボランティア  
(インフォメーションデスクの設置、エクスカーション等でのガイド)
- 日本文化体験ボランティア  
(茶道、着物着付、書道等の体験プログラム)
- コンベンション誘致促進助成金



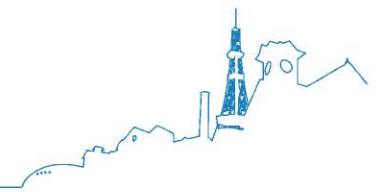
#### ユニークベニュー

- 札幌の多彩な観光資源を活用したユニークベニューの提供

«過去の活用事例»

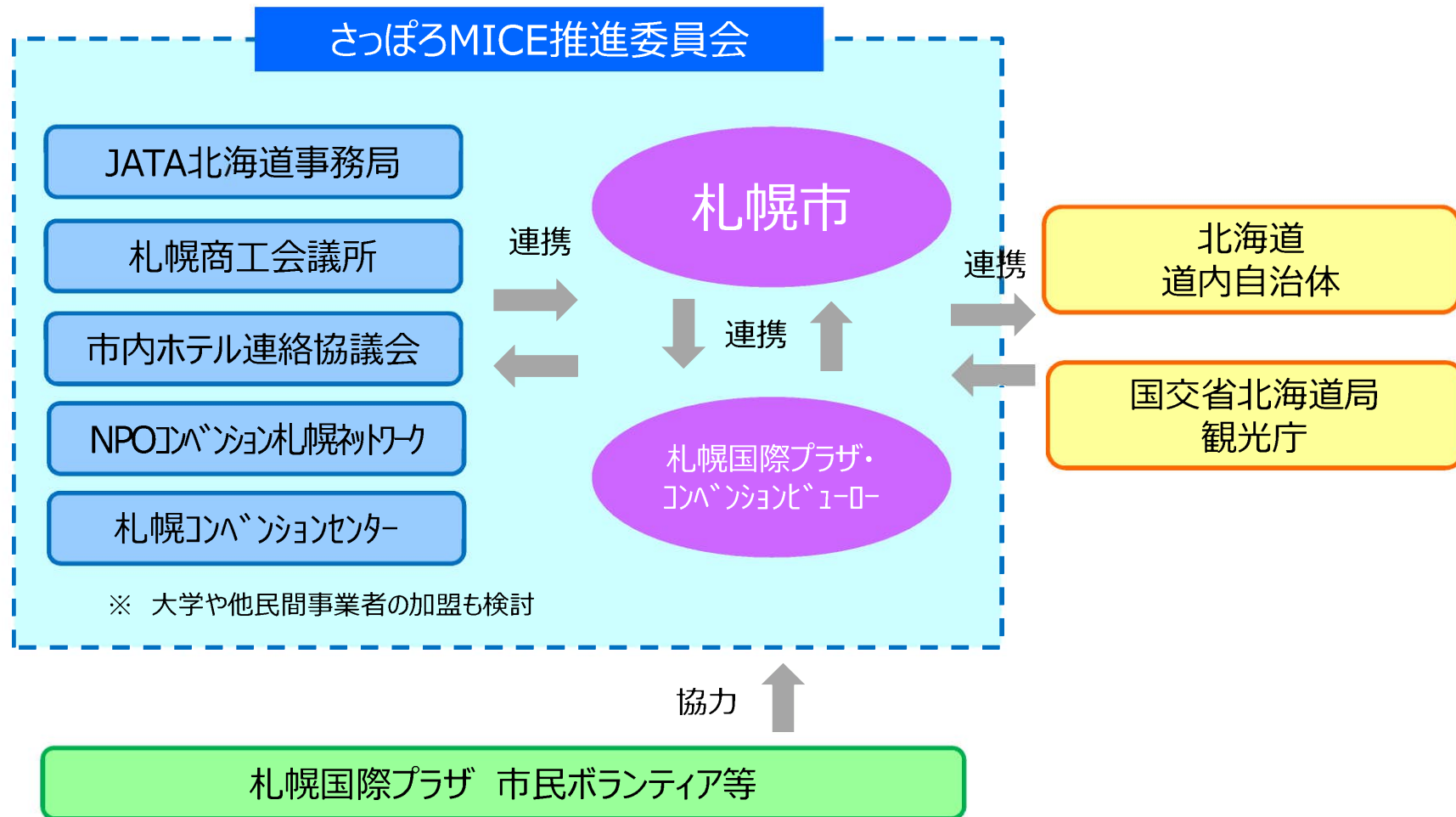
大倉山ジャンプ競技場、モエレ沼のガラスのピラミッド  
JRA札幌競馬場 など





## II 国際会議等誘致の取組

### ■ 官民連携による推進体制





## II 国際会議等誘致の取組

### ■ お問い合わせ先

- 札幌市経済観光局観光・MICE推進部
  - ・ TEL : 011-211-2376
  - ・ e-mail : [kanko@city.sapporo.jp](mailto:kanko@city.sapporo.jp)
  
- 公益財団法人札幌国際プラザ・コンベンションビューロー
  - ・ TEL : 011-211-3675 (札幌)
  - 03-3216-5090 (札幌市東京事務所内)
  - ・ e-mail : [convention@plaza-sapporo.or.jp](mailto:convention@plaza-sapporo.or.jp)